

平成27年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■鮎貝地区：7月3日（金）午後7時30分～9時 参加者数 57名

Q. 鮎貝大町角交差点への信号機設置等の対策について説明をお願いします。

A. 信号機の設置については、山形県警本部より、信号機の設置基準があり、当該地への設置は不可能であると回答を得ている。これまで安全対策として、山形県公安委員会より一時停止の規制がなされ、路面に「止まれ」の文字の表示や、高速道路で採用されている大きさの標識の設置、それに加えて当該地のような二車線では採用されない支柱の設置などが施されてきた。

さらに今後の対応として、一つ目に一時停止標識の増設、二つ目に既存の停止線の更新、三つ目に交差点付近の案内看板の移設をしていく。

Q. 東京都からの委託で特別養護老人ホームを設置していただきたい。

A. 町外からの委託の場合、住所地特例ということで介護保険料が白鷹町から発生しないため、町の負担は少なく、雇用の場をつくれるということになる。ただし、町の施設でないとなると、相手先と検討する時間も必要なのですぐに回答はできない。今後の課題として検討していく。

Q. 町道及び県道の白線について、除雪等により消えかかっている部分の整備を早急に対応していただきたい。

A. 町では年間約300万円の予算の範囲内で白線の対応をしている。昨年度は、町道の荒砥・浅立線において白線とグリーンベルトを設置させていただいた。ほかの部分についても、現状を把握したうえで予算の範囲内で整備を進めていく。

Q. 西中の跡地利用について、町ではどのように検討しているのか教えていただきたい。

A. 現時点では具体的な内容は持ち合わせていないが、社会福祉法人白鷹福祉会から町の遊休資産の利活用についての要望も来ており、町としても公共施設跡地のワーキングを設置して検討を進めている。ただし、跡地利用するためには耐震補強の費用がかかることから、その点も含めた検討をしていかなければならない。

Q. 若鮎マラソンについて、駐車場や着替えのことを考えると、スポーツ公園を利用した

方がよいのではないか。

A. グラウンド及び体育館を使用できることから、蚕桑小学校を利用している。そのため、スポーツ公園を使用することになると、雨天の際に利用できる施設がないというのが問題になる。ただし、平成24年にスポーツセンター構想も策定しているので、それらの推進を含め今後会場の変更については検討していきたい。また、駐車場の問題については、スポーツ公園の駐車場からシャトルバスを出すということも検討している。

Q. 役場庁舎を新設する際、歴史資料館をつくってほしい。

A. 歴史資料館の設置については、現在の計画地から考えるとスペースを確保するのが難しいが、今後の課題として検討していく。

Q. 一昨年、昨年と続いた豪雨災害では、数か月の間、毎日実渕川の砂が最上川の合流地点まで流れ続けたわけだが、町としては砂対策としてどのような取り組みをしてきたのか。また、今後砂が流れないような川にするための考えはあるのか。

A. 最上川の河口から黒鴨集落の上流2キロ部分については県の管理する一級河川の区間であり、災害の復旧事業ということでこれまで整備してきており、現在整備を続けている箇所もある。また、黒鴨集落の上流部には数基の砂防ダムが設置されているが、現在は満砂状態である。県では鮎貝堰頭首工の上にある砂防ダムの浚渫を今年度実施する方向で計画しているとの情報があった。時期については未定だが、確認の上、町民の方にお知らせしたいと考えている。

実渕川の上流部の調査等については、県の方でも実施すると聞いている。町の6月補正では、現地の状況を調査費用が決まったので、現地の方々から情報をいただきながら調査に入っていく予定である。

Q. 県道9号線については国道287号線が通行止めになった場合の迂回路として重要な位置づけがされている。しかし、高岡の塩田と朝日町の今平の間の道が非常に狭くなっており、車同士のすれ違いができない状態になっている。また、冬期間においては除雪ができないということから迂回路の意味をなさなくなるので、朝日町とも連携しながら対応をしていただきたい。さらに、塩田から古屋敷までの歩道の設置を県に要請していただくよう併せてお願いしたい。

A. 昨年は国道287号線の地すべりにより、長井大江線を迂回路として使用させていただき、冬期間は雪崩の危険性があるため通行止めとしているところを早急に除雪してもらっ

た。今後 287 号線が止まった時に迂回路として重要な役割を果たす道路でもあるので、県へ整備の要請をしたいと考えている。また、歩道設置については具体的な区間を示していただくとありがたい。

Q. 内町から四季の郷への道の両サイドの角へカーブミラーの設置をお願いしたい。交差点のところには大きな標識が設置されているが、花見や祭りなどのイベントシーズンに初めて訪れた人の事故が発生している現状がある。

A. 花見のシーズンなどは町外からも多くの人を訪れる場所でもあるので、再度検討して対応していきたい。

Q. この 2 年で中丸溜池が豪雨災害による流砂で埋まってしまったわけだが、このまま放置すれば、下の八幡、大町西東から内町、荒町方面まで砂が流れ、埋まってしまうことになるのではないか。

A. 平成 25 年度の年度末に中丸溜池の浚渫をさせていただいたが、昨年豪雨災害で再度埋まってしまったという状況である。まずは上流部で砂を受けられるよう、砂防ダムの浚渫を県へ要望したい。